



今年度の情報特派員特集は、町制施行60年に関連して様々な視点から取材をしています。今回は、町が誕生した1955年（昭和30年）生まれで開成町一筋の方に、子どもの頃の思い出や町に寄せる思いを聞いてみました。

昔の愛称で呼び合う座談会

「1964年の東京オリピックを皆で小学校の講堂に座って見たよね」こんな会話から座談会は始まりました。

今回集まったのは開成町が生まれた年と同じ年にこの地に生を受けた7人の方々。酒田保育園、開成小学校、文命中学校と10年余りを一緒に過ごし、そして今も開成町に住まいの生粋の開成っ子、キンちゃん（小澤均開成町副町長・パレットガーデン）、さなえちゃん（井上早苗さん・上島）、かずみちゃん（藤本和美さん・

懐かしい思い出も みんなで話すとより鮮明に

開成小学校の古い木造2階建ての校舎。クラス呼び方が赤組、白組だったこと。生年月日順の出席番号。全校児童



「そうだったっけ？」と話が食い違うことも笑い話に

が参加し、NHKで放映されたお正月のコマ回し&羽根つき大会。木の床の雑巾がけ。酒田神社側にあつたちよつと臭ったトイレ。3年生から4年生の頃にかけて町に大きな工場ができ、鉄筋コンクリート作りの住宅に住む東京からの転校生に都会ののびを感じたこと。稲刈りの時期は学校が休みになったこと。

小学校と同様に古い木造2階建てだった文命中学校。入学式に見た全員坊主頭になった男子。工事用みたいなヘルメットをかぶっての初めての自転車登校。修学旅行に行つた1970年大阪万国博覧会と初めて乗った新幹線。ケンはたくさんしたけれどいじめはなかったことなど。自給自足が基本だった生活が消費社会に移っていく実感など、

時代と共に町の姿や暮らしが刻々と変わっていくのを子どもながら感じていたとのことでした。

皆さんの中には一度開成町を離れた後、再び家族でこの町に戻ってお住まいになっている方もいて、



座談会に参加して下さった「生粋の開成っ子」たち



「開成駅を降りた瞬間や足柄大橋を渡っている時に気持ちふと落ちて着く雰囲気は私も子どもも感じていました」と話していました。「子どもの頃に感じ、今も感じるゆつたりと流れる空気や生活のスピード、草の匂いやカエルの鳴き声、遊び場だった田んぼにいつぱいに咲いたレンゲソウ、いつも見える富士山を子や孫がこれからもずっと感じられるほつとする町であってほしいな。」

皆さんの意見がまとまり、小・中学生から現在に戻った開成っ子たちの座談会が終わりました。

まちづくり情報特派員 石塚 敦



介護予防に取り組もう

高齢になっても、介護を必要としない健康でいきいきとした生活を送るために、町では様々な取り組みを行っています。今回は、皆さんが気軽に始められる「かいせい いきいき健康体操」を紹介します。

★かいせい いきいき健康体操とは

平成17年度に町のオリジナル体操として、介護予防と生活習慣病予防を目的に制作しました。高齢者にも無理なくできる体操で、関節や筋肉を少しずつ伸ばしたり、大きく動かしたりします。立った状態や椅子に座った状態でもできます。ゴムバンドを使用しませんが、なくてもできます。

★かいせい いきいき健康体操指導員

平成16・17年度に町が開催した「転倒予防リーダー養成講習会」の受講者を中心に「かいせい いきいき健康体操指導員会」を立ち上げ、地域で普及活動を展開しています。平成17年度以降も講習会を開催し、現在、7期の卒業生がいます。今年度は、指導員53人で活動しています。

★体を動かさすきっかけに

それぞれの地域で「かいせい いきいき健康体操」を中心に定期的に体操をしたり、地域の催し物の際に体操を取り入れたりしています。皆さんが参加しやすいように身近な自治会館などで開催しています。外に出るきっかけとして、また体を動かす機会としてご利用ください。

★指導員養成講習会

2月から、8期となる指導員を養成します。まずは自分が健康であるために行ってみようという方、そして、指導員として活動してみたいという方、ぜひ受講してください。（12月1日号おしらせ版参照）



かいせい いきいき健康体操指導員会

府川 好江 会長

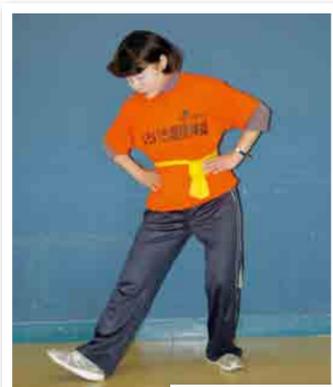


今年度会長の府川です。一人でも多くの方に体を動かすことの良さを実感していただき、いつまでも自分らしく、いきいきと生活していくために、一緒に体を動かしましょう！そして、一緒に指導員として活動しませんか？

CHALLENGE! 指導員と一緒に いきいき健康体操 をしよう!



さする体操 ゆっくり大きな動作で、体と対話しながらさします。



のびのび体操 関節と筋肉を徐々に伸ばします。



もりもり体操 無理なくマイペースでゴムバンドを引きます。

